

令和6年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 小倉小学校
校長氏名	橋爪 順子
作成日	令和 7年 1 月 24 日

1 教育目標

『豊かな心情を持ち、よく考え、健康で決まりある行動のできる子を育てる』 ・豊かな心を持ち、みんなと仲よくする子 ・進んで学び、よく考える子 ・心身ともに健康で、生き生きした子				
	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・自学自習の力をつけ、学習内容の習熟度を全国平均に近づける。 ・児童主体のわかる授業が実践できた。 (児童・教師90%)	・学校が楽しいと感じる。 (児童90%) ・いじめの解消率を100%にする。	・積極的に運動を行える環境を整え、実践する。(教師90%) ・食育を推進し、給食の残食が一日1kg未満になるようにする。	・学校の情報発信についての保護者評価(90%) ・近隣の諸学校と連携した取り組みを実践できた。 (教師80%)
重点目標 (P)	確かな学力の向上 ◎基礎学力の充実 ○言葉の力の育成 ○教員の授業力向上	豊かな心の育成 ◎挨拶のできる子の育成 ○道徳教育の充実 ○障がい者、高齢者との交流活動の推進	健やかな体の育成 ◎運動に親しむ習慣づくり ○食育の推進 ○保健教育の充実 ○危機回避能力の育成	地域とともにある学校 ◎家庭・地域との連携充実 ○学校ボランティア活動の充実 ○地域行事への参加・協力
取組の状況 (D)	・国語科の授業研究を中心に授業力の向上を図った。 ・音読、暗唱、視写などの活動を取り入れ、言葉の力の育成を図った。	・あいさつや掃除等の基本的生活習慣を大切にした。 ・障がい者施設との交流活動を実施した。 ・読書習慣の定着のため、	・授業としての体育以外にも、子どもセンター事業や遊びボランティアさんによる休憩時間の活動にも運動を採り入れた。 ・栄養士による学年に応じた食育授業を実施した。	・児童の登下校の見守り、子どもセンター事業、農業体験、マイ茶碗作り、工場見学、読み聞かせ、学校図書館ボランティア
取組の結果 (C)	・地道な取り組みが実を結ぶ事例も見られたが、さらに成果が実感できるような学習方法を工夫したい。	・学校が楽しいと感じている児童が90%以上を占めているが、いじめアンケートなどの結果を受け、今後も早期発見・早期対応の徹底を図る。	・避難訓練については、担当者が中心となり、職員が協力して取り組むことができた。 ・ボランティアさんによる、ソフトバレーボールや子どもセンター事業の開催など、	・学校ボランティアの皆さんに積極的に教育活動に加わっていただくことで、交流する機会を増やすことができた。
改善方法 (A)	・引き続き、国語科の授業研究を中心に全教員の授業力の向上を図る。 ・タブレット端末の有効活用を図る。	・あいさつや掃除など、教職員が児童とともに活動する中で、心の育成に努める。 ・環境が整った学校図書	・引き続き、体育の授業以外でも、運動に親しむための工夫を考える。(ボッチャなど誰でも取り組めるスポーツを採り入れる。き	・学校ボランティアの方々に協力していただく内容を、全学年に広げるとともに、積極的に地域の防犯活動に参加するた

3 その他の課題

